

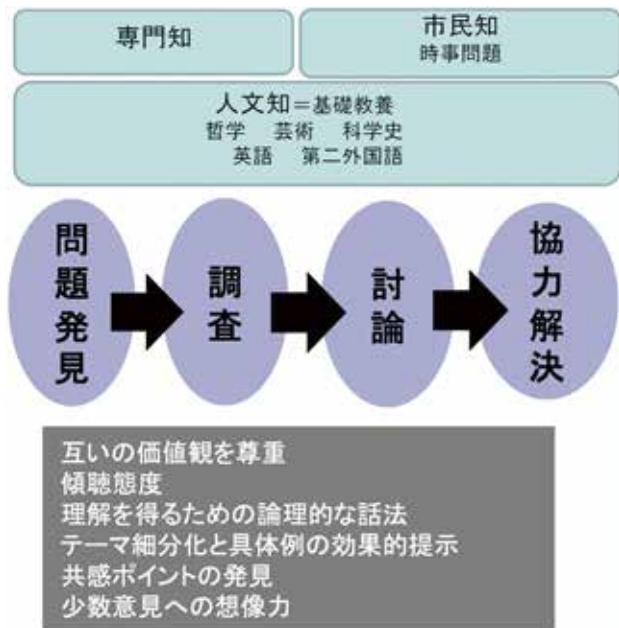
ディスカッションに基づく創造的リベラルアーツ教育

文理の枠を越えた21世紀型教養と学問リテラシーの修得

准教授 鈴木 順子

SUZUKI Junko

創造的リベラルアーツセンター
人間力創成教育院 語学教育プログラム 兼任



現代社会に生きる私たちが、直面する数々の問題を解決していくためには、さまざまな専門分野の人間が多様な知見を持ち寄り、相異なる価値観をすり合わせながら話し合いを重ねて互いに納得できる結論を見出すことが何より必要となる。

いま大学における教養教育で最も求められているのが、「自分で問題を見つけ、調査し、表現し、討論し、協力して解決する力」を身につけることに他ならない。そしてそれは専門知を得た3、4年生や大学院生こそ必要であり、さらに社会人になっても重要となる学問リテラシーである。言い換えればそれは総合的で能動的な21世紀的知性なのである。

本研究室で特に重要テーマとして掲げて取り組んでいるのが、1)文理の枠を越えた複合的問題解決を目的とするディスカッション授業、2)リベラルアーツとしての第二外国語教育、3)文理を問わず討論の際に共通して必要とされる哲学・芸術の基礎教養、情報収集・統合能力と論理思考の育成、である。

【研究テーマ】

- 21世紀型リベラルアーツ教育の実践と討論指導
- 女性思想家シモーヌ・ヴェイユにおける人文知と科学
- 哲学史における幸福論：古代ギリシアから現代まで
- リベラルアーツとしての第二外国語教育—理論と実践

キーワード

リベラルアーツ、第二外国語、文理融合、ディスカッション

相談に応じられる内容

文理の枠組みを越える教養教育、多分野統合型ディスカッション指導、グローバルリーダーとなるべき社会人に必要とされる21世紀的教養、リベラルアーツとしての多言語修得